

次号予告

特集 通信サービス

- 通信ネットワークにおけるORの問題
 ……………橋田 温(筑波大学)
- ダイナミックルーチングのモデル化手法
 ……………間瀬 憲一(NTT)
- 衛星通信システムにおける最適化手法の利用
 ……………水池 健(KDD)
- 超小型地球局ネットワークにおける多元性と統合
 ……………小野里 好邦(電気通信大)
- 石油緊急時における情報ネットワークシステム
 ……………炭竈 豊治(石油産業活性化センター)
- ### 研究レポート
- DEAによる効率性分析に関する一考察
 ……………末吉 俊幸(オハイオ州立大学)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- | | | |
|------|-------|----------------|
| 委員長 | 高森 寛 | 青山学院大学 |
| 副委員長 | 高井 英造 | 三菱石油㈱ |
| 委員 | 相沢りえ子 | ㈱構造計画研究所 |
| | 稲場日出男 | 工学院大学 |
| | 上野 哲郎 | 関東学園大学 |
| | 大村 雄史 | 住友商事㈱ |
| | 片山 隆仁 | 防衛庁 |
| | 川合 庸一 | 川合産業研究事務所 |
| | 川野幸三郎 | 日本ユニカー㈱ |
| | 木嶋 恭一 | 東京工業大学 |
| | 新村 秀一 | 住商コンピューターサービス㈱ |
| | 町原 文明 | 日本電信電話㈱ |
| | 宮田 雅智 | 青山学院女子短期大学 |
| | 矢部 博 | 東京理科大学 |

編集後記 ●汎用シミュレーション言語GPSSが世に出されたのが、20数年ほど前のこととなります。その頃からシミュレーションは使われていたはずですが、しかし、ここ3~4年前までは、シミュレーションの適応事例が発表されることは少なかったように感じます。シミュレーションがあまりに実務的なレベルで使われるため、外に出にくいという面があったことと、十分な理論的裏づけを行ないにくいという点から発表される機会も少なかったのだと思えます。

●ところが、最近は事情が急変しています。わが国の空前の好景気が影響して、新しく複雑な設備に対する投資が盛んになっており、そのシステム挙動を事前にとらえるためには、シミュレーションしかないといった場面が多くなっています。そのニーズがシミュレーションの研究を活発にさせている原動力になっています。OR学会研究発表会でも一時期姿を消していたシミュレーションのセッションが復活したことでもおわかりになると思い

ます。

●シミュレーション周辺のツールの整備も、普及に一役買っていることに疑いの余地もありません。以前は、モデルの検証というと、分析者が、いちどはシミュレータに成り代わりリストに長く打ち出されたトレース結果を追っていましたが、今やCRT上に現実のシステムの稼働状況がアニメーションで表示され、誰が見てもモデルの中身が理解できる仕掛けができています。

●シミュレーションがブームになると、万能薬であると思う人がでてきます。シミュレーション分析を行えば何らかの解答が得られるのは事実です。しかし、何のために、何に的を絞って、そして現時点では何を決めなくてはならないかといったことが整理され検討された上で分析されたものでなければその解答は無意味なものになってしまいます。ORワーカーにとっては、事前検討の必要性を説明することが、シミュレーション分析の第1ステップなのかもしれません。(相沢りえ子)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成2年2月号 第35巻 第2号 通巻350号

代表者 森村英典

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご文注は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337), 日経弘報社(563-2241)へ